



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 児玉化学工業株式会社

コード番号 4222 URL <http://kodama-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 健

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小林 亜夫

TEL 03-3834-0511

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,155	△9.0	36	△82.9	△13	—	△27	—
23年3月期第2四半期	8,959	36.9	216	—	106	—	6	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △35百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.93	—
23年3月期第2四半期	0.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,259	1,751	9.3
23年3月期	13,619	1,939	10.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,331百万円 23年3月期 1,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,550	4.5	530	△0.5	450	4.5	130	△88.1	4.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	30,154,411 株	23年3月期	30,154,411 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	168,797 株	23年3月期	163,962 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	29,988,303 株	23年3月期2Q	29,997,685 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報等	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12
(7) 重要な後発事象	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、本年3月に発生した東日本大震災により悪化した企業の生産活動は6月頃より回復の兆しが見え始めたものの、欧州諸国の財政不安、米国の景気鈍化等による急激な円高や株安、新興国需要を牽引してきた中国における金融引き締めなどの影響により景気停滞の懸念が広がり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境下、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,155百万円(前年同四半期比9.0%減)と減収となり、利益面では、引き続き経営資源の集中化並びに徹底したコスト削減に努めてまいりましたが、数量減の影響から営業利益は36百万円(前年同四半期比82.9%減)、経常損失は13百万円(前年同四半期は経常利益106百万円)、四半期純損失は27百万円(前年同四半期は四半期純利益6百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動車部品事業

当事業におきましては、国内では本年3月に発生した東日本大震災及び電力の供給不安等により生産数が大きく減少し減収となり、タイの連結子会社では第1四半期は好調を維持しておりましたが、震災によるサプライチェーンの崩壊による影響を受け、4月・5月は生産数が大幅に減少したため、売上高につきましては減収となりましたが、利益面につきましては、コスト削減等の合理化により増益となりました。

この結果、売上高は4,156百万円(前年同四半期比14.8%減)、セグメント利益は115百万円(前年同四半期比12.9%増)となりました。

② 住宅設備・冷機部品事業

住宅設備事業におきましては、新設住宅着工戸数が緩やかながら増加しており、事業環境は好転しつつあり、今後の震災復興による需要の増加が予想されるものの、個人消費の低迷等予断を許さない状況にあり、マーケットに対応した徹底した合理化を継続的に実施しております。

冷機部品事業におきましては、特にタイの連結子会社では、稼働率の向上やコスト削減努力等により、堅調に推移しております。

この結果、売上高は3,558百万円(前年同四半期比2.1%増)、セグメント利益は352百万円(前年同四半期比17.1%増)となりました。

③ 産業機器事業

当事業におきましては、市場における設備投資計画に再開の動きが見られるものの、本格的な回復には至っておりません。

この結果、売上高は276百万円(前年同四半期比28.3%減)、セグメント利益は38百万円(前年同四半期比45.4%減)となりました。

④ その他

その他事業におきましては、需要の停滞からエンターテイメント関係等の売上高が減少いたしました。

この結果、売上高は163百万円(前年同四半期比22.7%減)、セグメント損失は100百万円(前年同四半期比はセグメント損失23百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は14,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ639百万円の増加となりました。

資産では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加等により604百万円増加し、固定資産が無形固定資産の取得等により35百万円増加しました。

負債では、流動負債が短期借入金の増加等により974百万円増加し、固定負債が長期借入金の減少等により146百万円減少しました。

純資産では、少数株主持分の減少等により188百万円減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ217百万円減少し、858百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は236百万円(前年同四半期は723百万円の資金の増加)となりました。これは主に、たな卸資産の増加及び仕入債務の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は294百万円(前年同四半期は54百万円の資金の減少)となりました。これは主に、固定資産の売却による収入等があったものの、固定資産の取得による支出等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は484百万円(前年同四半期は386百万円の資金の減少)となりました。これは主に、長期借入の返済による支出等があったものの、短期借入金金の増加等あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、景気の先行きは依然として不透明であり、タイの連結子会社は洪水による直接の被害はないものの顧客の生産数減の影響が出るものと予想され、更に現時点では洪水は収束しておらず不確定であることから、平成23年6月20日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	917,659	888,692
受取手形及び売掛金	3,192,850	3,464,308
商品及び製品	338,722	311,083
仕掛品	206,440	219,673
原材料及び貯蔵品	671,856	901,283
その他	424,697	571,314
貸倒引当金	△7,824	△7,842
流動資産合計	5,744,403	6,348,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,696,282	4,687,405
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,113,563	△2,175,390
建物及び構築物(純額)	2,582,718	2,512,015
機械装置及び運搬具	5,889,701	5,946,246
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,288,208	△4,453,075
機械装置及び運搬具(純額)	1,601,492	1,493,171
土地	2,578,095	2,571,116
その他	2,115,345	2,125,094
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,369,707	△1,165,417
その他(純額)	745,638	959,677
有形固定資産合計	7,507,944	7,535,980
無形固定資産		
のれん	320	160
その他	85,238	111,624
無形固定資産合計	85,559	111,784
投資その他の資産		
その他	562,433	494,325
投資損失引当金	△45,505	—
貸倒引当金	△235,323	△231,398
投資その他の資産合計	281,605	262,926
固定資産合計	7,875,109	7,910,692
資産合計	13,619,512	14,259,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,673,766	3,730,337
短期借入金	3,866,301	4,748,416
未払金	185,371	257,689
未払法人税等	114,803	66,606
賞与引当金	—	45,542
その他	636,993	602,964
流動負債合計	8,477,235	9,451,557
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	2,083,028	1,935,993
退職給付引当金	142,247	173,818
役員退職慰労引当金	26,450	26,720
環境対策引当金	114,649	41,049
関係会社整理損失引当金	51,672	27,453
その他	84,826	151,358
固定負債合計	3,202,873	3,056,394
負債合計	11,680,108	12,507,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,021,032	3,021,032
資本剰余金	1,017,451	1,017,451
利益剰余金	△2,276,365	△2,304,337
自己株式	△16,434	△16,785
株主資本合計	1,745,683	1,717,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76,024	△86,595
繰延ヘッジ損益	4	△1,767
為替換算調整勘定	△273,658	△297,560
その他の包括利益累計額合計	△349,678	△385,922
少数株主持分	543,398	419,815
純資産合計	1,939,403	1,751,254
負債純資産合計	13,619,512	14,259,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,959,369	8,155,508
売上原価	7,931,033	7,216,773
売上総利益	1,028,335	938,734
販売費及び一般管理費	812,058	901,831
営業利益	216,277	36,903
営業外収益		
受取利息	1,313	2,112
受取配当金	2,148	2,213
助成金収入	12,889	37,784
その他	25,513	29,343
営業外収益合計	41,865	71,454
営業外費用		
支払利息	70,362	71,015
その他	80,895	50,971
営業外費用合計	151,257	121,986
経常利益又は経常損失(△)	106,884	△13,629
特別利益		
固定資産売却益	45,181	1,150
貸倒引当金戻入額	6	3,924
関係会社清算益	—	31,182
環境対策引当金戻入額	—	71,850
特別利益合計	45,188	108,107
特別損失		
固定資産売却損	645	32
固定資産除却損	257	1,598
環境対策引当金繰入額	5,649	—
災害による損失	—	18,396
特別損失合計	6,552	20,027
税金等調整前四半期純利益	145,519	74,451
法人税、住民税及び事業税	93,014	56,589
過年度法人税、住民税及び事業税	△5,310	△4,054
法人税等調整額	7,213	14,893
法人税等合計	94,918	67,428
少数株主損益調整前四半期純利益	50,601	7,022
少数株主利益	43,658	34,993
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,942	△27,971

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,601	7,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,067	△10,570
繰延ヘッジ損益	△4,175	△1,772
為替換算調整勘定	△33,031	△29,759
その他の包括利益合計	△74,273	△42,102
四半期包括利益	△23,672	△35,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,962	△64,215
少数株主に係る四半期包括利益	35,289	29,135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	145,519	74,451
減価償却費	483,694	410,787
のれん償却額	160	160
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	28,854	32,654
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△3,705
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,669	45,542
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△19,042
その他の引当金の増減額(△は減少)	5,649	△71,850
受取利息及び受取配当金	△3,462	△4,325
支払利息	70,362	71,015
為替差損益(△は益)	6,422	△223
固定資産除売却損益(△は益)	△44,277	479
関係会社清算損益(△は益)	—	△31,182
売上債権の増減額(△は増加)	△368,295	△310,123
たな卸資産の増減額(△は増加)	98,820	△222,724
仕入債務の増減額(△は減少)	410,216	85,954
その他	596	△130,241
小計	861,923	△72,374
利息及び配当金の受取額	3,591	4,331
利息の支払額	△77,151	△67,627
法人税等の支払額	△64,735	△101,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	723,627	△236,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△33,260
有形固定資産の取得による支出	△378,998	△415,801
有形固定資産の売却による収入	310,300	105,738
投資有価証券の取得による支出	△7,474	—
関係会社の整理による収入	—	46,193
貸付けによる支出	△7,310	—
貸付金の回収による収入	909	2,390
その他	27,637	682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,935	△294,056

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△729,600	888,806
長期借入れによる収入	1,100,000	207,200
長期借入金の返済による支出	△320,612	△341,033
社債の償還による支出	△250,000	—
自己株式の取得による支出	△245	△350
少数株主への配当金の支払額	△29,065	△146,401
その他	△156,600	△123,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,124	484,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,427	△12,881
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	267,140	△59,627
現金及び現金同等物の期首残高	808,372	917,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,075,513	858,032

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	自動車部品 事業	住宅設備 ・冷機部品 事業	産業機器 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,876,470	3,485,631	385,117	8,747,220	212,148	8,959,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	220,055	252,235	—	472,291	—	472,291
計	5,096,526	3,737,867	385,117	9,219,512	212,148	9,431,660
セグメント利益又は損失(△)	102,161	300,987	71,200	474,349	△23,663	450,685

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンターテイメント事業、その他事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	474,349
「その他」の区分の利益	△23,663
セグメント間取引消去	△23,190
のれんの償却額	△160
全社費用(注)	△315,572
未実現損益調整額	9,995
その他の調整額	23,762
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	145,519

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	自動車部品 事業	住宅設備 ・冷機部品 事業	産業機器 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,156,291	3,558,968	276,302	7,991,561	163,947	8,155,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,135	329,380	—	345,516	40	345,556
計	4,172,426	3,888,348	276,302	8,337,078	163,987	8,501,065
セグメント利益又は損失(△)	115,293	352,560	38,870	506,725	△100,309	406,415

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンターテインメント事業、その他事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	506,725
「その他」の区分の利益	△100,309
セグメント間取引消去	△80,970
のれんの償却額	△160
全社費用(注)	△263,629
未実現損益調整額	10,001
その他の調整額	2,794
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	74,451

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
<p>当社は、平成23年11月10日開催の取締役会において、インドネシアに子会社を設立することを決議いたしました。</p>	
<p>1. 子会社設立の趣旨</p> <p>当社は、急成長が見込まれるインドネシア国内の需要と日系自動車メーカーの現地部品調達の要請等に対応するため、生産子会社を設立することと致しました。</p>	
<p>2. 設立する子会社の概要</p>	
(1) 名称	PT. ECHO ADVANCED TECHNOLOGY INDONESIA (仮称)
(2) 所在地	インドネシア共和国 KAWASAN INDUSTRI MITRAKARAWANG 工業団地内 (予定)
(3) 主な事業内容	プラスチック成形品及び部品の製造販売及び金型の製作販売
(4) 資本金の額	51,300百万ルピア (約450百万円)
(5) 持株比率	当社及び商社等 (調整中)
(6) 設立年月	平成24年2月 (予定)
(7) 稼動開始	平成24年7月 (予定)